

令和元年度の活動方針

基本方針

1. 研修活動の充実を図り、教育者としての教養と専門性を研ぎ、学校の管理・運営者として必要な資質や能力を高める。
2. 「生きる力」と「豊かな人間性」を育成するための教育実践に努める。
3. 三重県公立小中学校教頭会の活力を高め、組織の発展強化に努める。

活動目標

1. 今日的な課題の解決に向け、家庭・地域、教育関係諸団体との連携を密にしながら積極的に取り組む。
2. 危機管理に努めつつ、真に地域に開かれた学校づくりを進める。
3. 教頭の職務内容の研究を通し、教頭としての力量を高め、保護者地域からの信頼を高める。
4. 会員相互の連携を深め、組織の円滑な運営に努めると共に、組織の充実・強化を積極的に進める。
5. 政策提言能力を備えた職能団体として、教頭の職務に関する研究及び調査を基に、教頭の社会的地位の向上、学校現場における教育活動の充実に向けた教育政策提言を行う。

事業内容

1. 各学校の実践の中核となり、日々の教育実践を積み上げ、開かれた学校づくりに努める。
2. 単位教頭会を母体として実践的な研究を推進し、その研究成果を持ち寄り、第41回三重県公立小中学校教頭会研究大会（松阪大会）の成功に向けて取り組む。
3. 全国研究大会及び東海北陸研究大会に積極的に参加し、全国の仲間との交流を図り第11期全国統一研究主題に基づく研究・実践に努める。
4. 教頭の職務内容の研究及び調査を基に、教頭の社会的地位の向上、学校現場における教育活動の充実を図るため、家庭・地域、教育関係諸団体と連携しながら、県及び各市町において教育機関・関係者との要請（懇談）活動に積極的に取り組む。
5. 上記の活動を通して、総務・研究・広報・調査の各部の活動を、より一層充実したものにしていこう。